明立小学校　校歌

寺内　大輔　作曲
井野口　慧子　作詞

一

大地に弾む　朝の声
心をこめて　今日を歩こう
信じる瞳　澄ませて
輝きあふれる　海のように
歩いていこう　どこまでも
柳の木のこだま
明立の風と共に

二

命きらめく　苗の道
心をひらき　明日を呼ぼう
生きぬく翼　鍛えて
はるか果てしない　空のように
愛を渡そう　いつまでも
灰が峰の微笑み
明立の夢と共に

本校は、平成十七年４月一日に吾妻小学校と上山田小学校が統合してできた小学校です。

校名の由来

各校の校歌の歌詞にある「明るく強く伸び行こう」（吾妻小）「立てよ進めよもろともに」（上山田小）から、それぞれ「明」と「立」をとり、明立小学校としました。

校章の由来

本校の校章は、平成十六年度に両校の高学年児童が、アイデアを出し合った作品の中から、呉市立小学校教育研究会図画工作部会において候補作品をさらに絞り込み、専門家に依頼してデザイン化したものです。

児童の「一番輝いた学校にしたい」という願いと新しい学びの場への期待を込めています。校章としてはあまり見られない左右非対称の形となっています。

校歌の由来

両校それぞれの学校を象徴する言葉やイメージを大切にして、「柳の木」（吾妻小）「灰が峰」（上山田小）を歌詞の中に取り入れることとしました。

その思いを伝え、作曲を寺内大輔先生に、作詞を井野口慧子先生に依頼してできあがったのが本校の校歌です。

新しくできた校歌を児童全員の歌声で響かせることで、両校の歴史を引き継ぐとともに、更に発展させることができる校歌です。